

上庄ひいらぎこども園 自己評価表 (令和6年度)

氏名 _____

A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①園の保育方針を理解している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標は子どもの成長段階や行事の取り組み等連携を行えた ・意見の交換をする事で保育を振りかえり次へと繋げていく ・個人差に合わせ無理なく園生活を過ごせるようにする
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている	A	
③担任間で話し合って、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階に合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	B	

2. 保育の内容

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①保育や生活の中で『ねらい』や『内容』が達成されるよう配慮している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生きていく力の基盤を作る事が保育の大切な事と受け止め愛着形成ができるよう一人一人を尊重し保育するよう担任間で共有している ・保育計画に基づきねらいを意識しながら保育を進めていくよう努力した ・保育環境を整えより良い保育ができるように努めている ・清潔に整理整頓を心掛け、集中できる環境つくりを心掛けている
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	B	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. こども園の組織・役割分担

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①職場内で連携がとれている(連携をとるよう努めている)	B	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達事項があればクラス内で共有し、必要であれば園長・主任へ報告するよう心掛けた ・連絡事項はできるだけ口頭で伝えるようにし、すぐに伝えられない時にはメモ書きをする ・研修の参加や専門書による知識や技能の向上に努めたい
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	A	
③職員間で「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」ができている。	B	
④職場の中で自分の役割を自覚している。	B	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案を出している。	B	
⑥各職員は任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	

内容	評価	改善目標・工夫している点など
⑦各職員は職員会などで必要と思う質問や意見を発言している。	B	・研修会に参加し学んだ事を他の職員と共有する
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達し、保育に生かしている。	B	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①保護者に対して、丁寧な言葉使いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	・直接会話する時間がとれない保護者の方には連絡帳に記入し園での様子をお知らせする ・他園や関係機関と連携をとる機会がなかった為研修会などに参加した時は情報交換をしていきたい ・登園時体調などいつもと変わらないかを確認するよう心掛けている ・1エピソードを心掛けた
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	B	
③保護者に子どもの伸びている所や課題を伝えるなど連携をとっている。	B	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等、園以外での子どもの状態を把握している。	B	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	B	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている	B	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	改善目標・工夫している点など
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	・金銭等は集まり次第、事務室に預かってもらう
②園内で知り得た事柄に対して守秘義務は徹底出来ている	A	
③金銭等を取り扱う場合、適切に処理出来ている。	A	

6. 反省

・保護者と伝達事項だけでなく日頃の様子などを共有しあい信頼関係を築きたい
・こどもたちの個々の発達や性格・行動等を把握し関わってきたが至らない点もあり振り返りながら今後の保育に生かしていく
・他のクラスの保育士に朝や帰りの子ども達の様子を聞き保育内容や発達をより深く見直すきっかけとなった
・可能な限り一人ひとりの欲求に合わせて時間に余裕を持った関わりを行いたい
・保育計画を立てる際は、担任間で話し合いの場を持ち同じ目標を持って保育を行いたい
・報告・連絡・相談はとても大切な事と実感。園全体でたくさん情報を共有したい
・職員会議などでは自分の意見を発言できなかった、思っている事を発言する努力をする
・こども達とたくさん関わり小さな成長や気づきを細めにメモを残せ、保護者とのコミュニケーションを図り共有できた
・より良い保育のために職員間で情報交換を図っていきたい。クラスの連携の大切さを感じる中、それぞれの思いがありまとめていく難しさを実感した
・子どもに対してのかかわり方や声掛けのやり方で悩むことが多かったが周囲の保育士を見て勉強になった
・明るく気持ちの良い挨拶を心がけ、思いやりのある声かけで職員間のコミュニケーションをとっていく
・衛生管理・アレルギー食・離乳食・行事食・伝統食・食事形態・栄養バランス等を考えていきたい